



自ら課題を見つけ、進んで健康づくりに取り組もうとする子の育成

～歯・口の健康づくりを通して～



岡山県英田郡西粟倉村立西粟倉小学校

研究の重点としては、「体験的な活動を工夫し、児童の主体的・意欲的な学習を促す授業づくり」「児童の意識を高め継続できる日常生活の指導」「家庭・地域との連携」の3つを設定し、それぞれの重点に対して仮説を立て、研究を推進してきました。

体験的な活動の工夫



授業の充実 「こちょこちょみがき」「しゃかしゃかみがき」「くるんくるんみがき」などみがき方に名前をつけて、全学年で統一した。また、歯こう染め出しや口腔内内視鏡を用い、自分の口の中の課題が明らかになるように工夫した。また、可動式の歯列模型や第一大臼歯の模型を使うことで視覚的に理解しやすいよう工夫した。

専門家によるT・T指導

学校歯科医、歯科衛生士、養護教諭らが授業に参加することで、児童はより専門的な立場からアドバイスを聞くことができた。また、栄養教諭による食育とも連携し、「たべものわくわくたんけん」を通して五感を使って食べることの大切さや、よく噛んで食べることの重要性について伝えることができた。



日常生活



給食後の歯みがき

児童健康委員会で歯みがきチェックをしてカードにシールを貼って意欲を高めたり、歯みがきDVDを作成したりすることで、食後3分間鏡を見ながらみがくことが定着してきた。

歯みがきチェックカード

6月・夏休み・11月・冬休みには「歯みがきチェックカード」を実施し、家庭での歯みがきの習慣化を呼びかけた。

健康集会

歯・口に関するクイズをしたり、歯みがき名人を表彰したりむし歯予防の劇を行ったりした。また3つの体験コーナー（①歯垢の中の細菌を見る②カミカミチェック③あいうべ体操）でより歯・口への関心を高めることができた。



家庭・地域との連携



8020 達成者へのインタビュー

地域の 8020 達成者の方に歯・口を健康に保つための秘訣についてインタビューし、「夜の歯みがきは5分していること」や「砂糖はなるべく控え、バランスのよい食事をこころがけていること」など将来の自分の健康について考える機会となった。

健康参観日

歯・口の健康に関する授業を行い、保護者への啓発の機会とすることができた。

地域学校保健委員会

西粟倉村教育委員会、保健福祉課、幼稚園、小学校、中学校が歯・口の健康をテーマに発達段階に応じた指導を行った。

